

認知症を早期発見するために

認知症の早期発見、早期受診・診断、早期治療はその後の認知症の人の生活を左右する非常に重要なことです。

早い時期に受診することで、薬で進行を遅らせたり、症状を軽減することができます。また、支援を受ける態勢を整え、本人と家族が将来のことをゆっくり考える時間をもつこともできます。

早期発見の目安



※当てはまるものにチェックしてみてください。

●物忘れがひどい

- 1 . 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2 . 同じことを何度も言う・問う・する
- 3 . しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4 . 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

●判断・理解力が衰える

- 5 . 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6 . 新しいことが覚えられない
- 7 . 話のつじつまが合わない
- 8 . テレビ番組の内容が理解できなくなった

●時間・場所がわからない

- 9 . 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10 . 慣れた道でも迷うことがある

●人柄が変わる

- 11 . 些細なことで怒りっぽくなった
- 12 . 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 13 . 自分の失敗を人のせいにする
- 14 . 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

●不安感が強い

- 15 . 一人になると怖がったり寂しがったりする
- 16 . 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17 . 「頭が変になった」と本人が訴える

●意欲がなくなる

- 18 . 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19 . 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20 . ふさぎこんで何をするのも億劫がり、嫌がる



あくまでも目安ですが、いくつか思い当たることがあれば、**かかりつけ医**や**認知症の専門医**に受診してみてください。すぐに受診することが難しい場合は、**地域包括支援センター**、**認知症初期集中支援チーム(たんとサポートチーム)**や**認知症地域支援推進員**などにご相談ください。

